

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 701	A B 146	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	書写 702	B 5 130	
17	教育出版	教 出◆	書写 703	A B 146	
38	光村図書	光 村	書写 704	B 5 158	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、三省堂、教出、光村

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】の内容

- (3) 我が国の言語文化に関する事項

○書写

文字の書き方については、小学校での学習を踏まえ、第1学年では、文字を書く基礎となる字形、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書くこと、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと、第2学年では、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書くことを系統的に示している。文字文化については、文字の書き方に関する学習を基礎として、第2学年では、楷書又は行書を選ぶなど、目的や必要に応じた書き方を判断して書くこと、第3学年では、身の回りの多様な表現を通して文字を文化として認識し、その豊かさに触れながら効果的に文字を書くことを示している。

なお、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2(1)ウ(ア)に示している書写の学習指導の配慮事項を踏まえる必要がある。

また、各学年の指導事項については、毛筆と硬筆による文字の書き方についての内容を併せて示している。したがって、毛筆を使用する書写の指導を各学年で行うことは従前と変わらない。その際、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の2(1)ウ「(イ)毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。」に配慮する必要がある。

【学年の内容】

【第1学年】

- (ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。
- (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

【第2学年】

- (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。
- (イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。

【第3学年】

- (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

【参考：「中学校学習指導要領解説 国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(2) 学習内容の改善・充実

④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

中央教育審議会答申においては、「引き続き、我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。」とされている。

これを踏まえ、「伝統的な言語文化」、「言葉の由来や変化」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理し、その内容の改善を図った。

【参考：中学校学習指導要領解説国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項」から（抜粋）】

- ウ 書写の指導については、第2の内容に定めるほか、次のとおり取り扱うこと。
- (ア) 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
 - (イ) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
 - (ウ) 毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
 - (エ) 書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	各学年の目標(1)	個
b 「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数		個
c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数		個
d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数		個
e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数		個
f 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

- ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項
 - a 「字形、文字の大きさ、配列の内容」が示されている項目（別紙2-1）
 - b 「漢字の行書の基礎的な書き方の内容」が示されている項目（別紙2-1）
 - c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容」が示されている項目（別紙2-1）
 - d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容」が示されている項目（別紙2-1）
 - e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容」が示されている項目（別紙2-1）
 - f 発展的な内容を取り上げている項目の学習の内容（別紙2-2）

<その他>

 - *1 防災や自然災害の扱い（別紙2-3）
 - *2 オリンピック・パラリンピックの扱い

<調査の結果、*2については記載のないことを確認した。>
- ② 調査対象事項を設定した理由等
 - ・ 書写において取り上げられている文字は、国語の授業や日々の生徒の生活と関連をもたせるよう配慮することが大切である。そのため、学習指導要領で示された指導事項がどのように取り上げられているか、実際の日常生活や学習活動に役立つようにどのように取り上げられているかを調査する。（a、b、c、d、e）
 - ・ 発展的な内容については、中学校学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3 教

育課程の編成における共通的事項（1）内容等の取扱い「イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3)指導計画の作成等に当たっての配慮事項「イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。そこで、教科書に発展的な内容として明記されている箇所について、学習指導要領に示されている内容と同様に調査することとした。(f)

- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。（*1）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（*2）

③ 調査の方法

- a～e 目次で示されている小単元を整理するとともに、硬筆教材、毛筆教材、硬筆と毛筆の関連教材のそれぞれについて、指導事項ごとに取り上げられた文字を単元の内容・教材の内容別に抽出する。
- f 発展的な内容については義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- *1 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- *2 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、箇条書きで記述する。

- ア 毛筆の書き初めで示されている文字
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- ウ ユニバーサルデザインの視点
- エ デジタルコンテンツの扱い
- オ その他

「別紙1」 【(1) 内容ア 調査研究の総括表】 (中学校 書写)

項目	a 「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取上げている項目数	b 「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取上げている項目数	c 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取上げている項目数	d 「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取上げている項目数	e 「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取上げている項目数	f 発展的な内容を取り上げている箇所数
発行者						
東書	8	8	4	3	5	1
三省堂	7	8	3	2	2	2
教出	8	11	7	2	2	5
光村	7	7	5	2	4	1
平均値	7.5	8.5	4.8	2.3	3.3	2.3

表中の平均値は小数第2位を四捨五入した。

f 中学校学習指導要領の指導事項にはないが、高等学校の指導につながることや文字に関する知識の内容を取り上げている項目数

「別紙2-1-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 東書】(中学校 書写)

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容	
1	楷書の書き方を確かめよう	点面の書き方と字形の整え方	「大志」(毛)					
		仮名の書き方と字形	五十音表(小)(硬)					
		文字の大きさと配列	「夏山の緑うつりし小窓かな」(小)					
		情報を整理した書き方	ノート(硬)					
		楷書のまとめ	「円」他(硬)					
	行書の書き方を学ぼう	行書を書くときの動き			「東」他(毛)(小)			
		点面の連続			「日光」(毛)			
		点面の変化			「大空」(毛)			
		行書のまとめ①			「二」他(硬)			
		生活に広げよう	案内の手紙を書こう 年賀状を書こう 職場訪問をしよう	封筒、手紙(硬) 手紙、置き取りメモ、ポスター、レポート(硬)	はがき 他(硬)(小)			
2	行書の書き方を学ぼう	点面の省略		「桜色」(毛)				
		筆順の変化		「若緑」(毛)				
		行書のまとめ②		「格」他(硬)				
		行書と仮名の調和			「豊かな自然」(毛)			
		行書に調和する仮名			五十音表(小)(硬)			
	楷書と行書を選んで書こう	文字の大きさと配列				「草山に馬放ちけり秋の空」(小)		
		楷書と行書の使い分け					インターネットのメモ、手紙、試験の申し込み書、ノート(硬)	
		場面や目的に応じた書き方					申し込み書、図書館の利用カード(硬)	
		行書のまとめ③						
		生活に広げよう	本のポップを書こう 防災訓練に参加しよう	本のポップ(硬)				メモ、余韻線、ポスター、案内表示、看板、ハンフレット(硬)(毛)
3	効果的に文字を書こう	身の回りの文字の目的と工夫					本、申し込み書、案内標識、賞状、年賀状、五牌(硬)(毛)(小)	
		手書き文字の特徴					はがき、メモ、感謝カード(硬)(毛)(小)	
		書き手の意図と表現						応援旗(毛)
		現代につながる文字の役割						木の札 他(硬)(毛)(小)
		生活に広げよう	思いを文字で表そう					卒業に向けた作品、「栄光のかげ橋」(硬)(毛)(小)

(硬) 硬筆教材 (毛) 毛筆教材 (小) 小筆教材 「 」 例示されている文字

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 三省堂】(中学校 書写)

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容
1	楷書	字形の整え方と筆使い	「天地」(毛)				
		点画の種類と筆使い	点画の種類(毛)				
		書いて身につけよう。字形の整え方(点画の組み立て、部分の組み立て、外形)	「天地」他(硬)				
	楷書と仮名	仮名の字形と筆使い	『いろは歌』(小)				
		文字の大きさと配列	「暑き日を海に入れたり最上川」(小)				
		書いて身につけよう。仮名の字形／文字の大きさと配列	『竹取物語』他(硬)				
	行書	行書の特徴		「実」「結」(毛)			
		点画の丸み		「名月」(毛)			
		点画の連続		「元氣」(毛)			
		点画の形や方向の変化		「探究」(毛)			
	書いて身につけよう。点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化		「名月」他(硬)				
やってみよう	グループ新聞を作ろう	グループ新聞(硬)					
2	行書	点画の省略		「親和」(毛)			
		筆順の変化		「紅花」(毛)			
		書いて身につけよう。点画の省略／筆順の変化		「親和」他(硬)			
	行書と仮名	行書と仮名の調和			「豊かな実り」(毛)		
		行書に調和する仮名			『いろは歌』(小)		
		書いて身につけよう。行書と仮名の調和／行書に調和する仮名			「豊かな実り」他(硬)		
	楷書と行書	楷書と行書の使い分け				漢字テストの解答欄、メモ、お礼状(硬)	
	やってみよう	情報誌を作ろう				情報誌(硬)(小)	
	文字文化の豊かさ	身のまわりの文字					手紙、新聞記事、広告、年賀状、ポストカード他(硬)(毛)(小)
	やってみよう	名言集を作ろう					名言集、「未知へと歩む」(硬)(毛)(小)

『 』 例示されている文字 「 」 小筆教材 (小) 毛筆教材 (毛) 硬筆教材 (硬)

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 教出】(中学校 書写)

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容
1	楷書で書こう	筆使い—基本点画— 筆使いと字形「天地」 学習を生かして書く—字形、筆順— 筆脈「いろは歌」	点画の種類(毛) 「天地」(毛) 「常」他(硬) 「いろは歌」(毛) 『いろは歌』、五十音表(硬)(小) 『竹取物語』(硬)				
	楷書と仮名を調和させて書こう	筆脈「いろは歌」 楷書に調和する仮名「いろは歌」 学習を生かして書く—行の中心— 学習を生かして書く—配列— 学校生活に生かして書く	『いろは歌』、五十音表(硬)(小) 『竹取物語』(硬)				
2	行書で書いてみよう	行書学習のはじめに 楷書と行書の違い「和」 行書の筆使い「大」 点画の連続と変化1「大木」 点画の連続と変化2「栄光」 点画の連続と省略「平和」 学習を生かして書く—行書の特徴—	『風信帖』他(硬)(毛)(小) 「和」(毛) 「大」(毛) 「大木」(毛) 「栄光」(毛) 「平和」(毛) 「風月」他(硬) 「初志」(毛) 「深緑」(毛) 「特許」他(硬)				
	行書と仮名を調和させて書いてみよう	行書と仮名の調和「書ひの声」 行書に調和する仮名「いろは歌」 文字と大きさと配列 書く速さを意識して書く—行書と仮名の調和— 学習を生かして書く—行書と仮名の調和と配列— さまざまな書く場面 学習を生かして書く	「書ひの声」(毛) 『いろは歌』、五十音表(硬)(小) 詩、短歌 他(小) 『走れメロス』(硬) 『枕草子』他(硬) メモ、ノート、立て看板、黒板、掲示物、手紙(硬)(毛) 新聞、掲示物(ポスター)、案内状(硬)(毛)(小)				
3	行書を深めよう	点画の変化と連続「創造」 行書と仮名の調和「美しい自然」	「創造」(毛)				
	行書と仮名を調和させて書こう	学習を生かして書く—配列— 多様な表現による文字 三年間の学習の成果を生かそう	「美しい自然」(毛) 『おくのほそ道』他(硬)(小)				案内板、ノート、案内標識、おみ紙、書籍の題字 他(硬)(毛)(小) メッセージカード、手紙(硬)(小)

(硬) 硬筆教材 (毛) 毛筆教材 (小) 小筆教材 「 」 例示されている文字 『 』 作品名

「別紙2-1」【(1) 内容 イ 調査項目の具体的な内容 光村】(中学校 書写)

学年	単元の内容	教材の内容	a 字形、文字の大きさ、配列の内容	b 漢字の行書の基礎的な書き方の内容	c 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方の内容	d 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選ばせる内容	e 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことの内容
1	読みやすく書くための楷書 読みやすく書くための行書	やってみよう 漢字を分解してみよう	点画の種類 (毛)				
		漢字の筆使い	「天地」、「春風」 (毛)				
		楷書に調和する仮名 (いろいろは歌)	『いろいろは歌』、五十音表 (硬)				
		文字の大きさと配列 (俳句)	「夏の夜やちざれちざれの天の川」 (小)				
		学校生活 目標を書こう	学級スローガン、個人目標 (硬) (毛)				
		やってみよう 速さを比べてみよう		「春夏秋冬」 (硬)			
		行書の特徴		「緑」 (毛)			
		丸み/点画の連続		「一」他 (毛)			
		点画の変化		「大木」、「北西」、「月光」 (毛)			
		国語 季節のしおり1		俳句、短歌 (硬)			
2	読みやすく書くための行書 文字を使い分ける	点画の省略		「雲海」 (毛)			
		筆順の変化		「紅花」 (毛)			
		行書に調和する仮名 (いろいろは歌)		『いろいろは歌』、五十音表 (硬) (小)			
		行書と仮名の調和		「豊かな心」、「深まる秋」 (毛)			
		国語・学校生活 行書を活用しよう		本の帯、ノート、立て看板、応援旗、メモ、一筆箋、名前 (硬) (毛)			
		国語 壁新聞を作ろう	壁新聞 (硬)				
		やってみよう 「デザインと文字」を考えよう				テレビ番組のタイトル (硬) (毛)	
		楷書と行書の使い分け				インタビュースケッチ、入学願書 (硬)	
		国語 季節のしおり2			『枕草子』 (硬)		
		全国文字マップ					身近な文字 (硬) (毛) (小)
3	文字を使い分ける	文字の使い分け					新聞、パンフレット、看板 他 (硬) (毛) (小)
		三年間のまとめ					「探究」、「輝ける未来」 (毛)
		私の好きな言葉					卓球選手、漫画家の言葉 (硬) (毛) (小)
		国語 季節のしおり3					
		国語 冊子にまとめよう	冊子 (硬)				
		国語					

(硬) 硬筆教材 (毛) 毛筆教材 (小) 小筆教材 「 」 例示されている文字 『 』 作品名

発行者	学年	取り上げている内容	具体的な学習の内容
東 書	3	① 古典をもとに	① 高等学校の芸術科書道の学習、欧陽詢「九成宮醜泉銘」、王羲之「蘭亭序」、「曹全碑」、伝 藤原行成「蓬萊切」、 「牛橋造像記」の紹介
三省堂	3	① 篆刻について知ろう	① 篆刻の意味と書作品における篆刻の役割
	3	② 書の古典	② 王羲之「楽毅論」と光明皇后が臨書した「楽毅論」等の鑑賞
教 出	2	① 気持ちのつながりから文字のつながりへ	① 連綿の意味と「元永本古今集」の鑑賞と視写
	2	② 短冊と色紙	② 懐紙の意味と懐紙、色紙、短冊のそれぞれの大きさ、詩懐紙(藤原佐理)、色紙帖(本阿光悦「薄に月図」)、短冊(霊元天皇「霊元天皇宸翰古歌短冊」)、短冊(九条輔実「元祿堂上歌会帖」より)の紹介
	2	③ 日本建築と「書」	③ 書院造りと「書」の関係、書院造り、現代の和室、茶室、掛軸、扁額、屏風の紹介
	2	④ 書の古典の鑑賞	④ 書風の意味、虞世南「孔子廟堂碑」、褚遂良「雁塔聖教序」、歐陽詢「九成宮醜泉銘」、顔真卿「顔氏家廟碑」の鑑賞
	1・2・3	⑤ 芸術としての書道	⑤ 「西本願寺本三十六人家集」の紹介
光 村	3	① なりきり、書聖・王羲之	① 高等学校の芸術科書道の学習、王羲之「蘭亭序」の冒頭部分のなぞり書き

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要（学年 掲載ページ）
東書	<p>「字形と配列を整える書き方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料】「防災マップを作ろう」について、字形と配列を整える書き方の例（P9） ・【防災訓練に参加しよう】 ・【本文】話し合いのメモ、会議録、ポスター、案内表示、看板、パンフレットを、それぞれの形態に合わせて書写で身に付けた力を生かして書くこと（P75-77） <p>「手紙と宛て名の書き方を確かめよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料】防災訓練の企画や運営に参加させてもらったお礼の手紙（P3）
三省堂	<p>「楷書と行書の使い分け」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料】防災訓練の伝言を受けたときに、簡条書きでメモを書くこと（P65）
教出	(該当する記載なし)
光村	(該当する記載なし)

